

1・成績評価基準

授業科目の成績評価は最高100点の点数制で評価します。成績の点数は、表1に示すように、点数基準に従ってS、A、B、C、Dによって成績表記します。合格はC表記60点以上をもって評価し、不合格はD表記59点以下をもって評価します。

S	100点～90点
A	89点～80点
B	79点～70点
C	69点～60点
D	59点以下

表1 成績表記と点数基準

- (1) 授業科目の成績は、**試験、レポート、演習・小問、参加姿勢**によって評価されます。シラバスには、例えば講義授業では「定期試験30点＋中間試験30点＋演習・小問40点＝100点で評価する」ように、また実験授業では「参加姿勢40点＋実験レポート60点＝100点で評価する」ように、成績評価の方法が明記されています。
- (2) 合格した授業科目に対する成績の取り消しや受験のやり直しはできません。

2・GPA評価

GPAとは、Grade Point Average(成績評価点平均値)のことで、学生が主体的・意欲的に学習するための有効な指標です。

- (1) 成績表記S, A, B, C, Dのそれぞれに対応して評価ポイントGP=4, 3, 2, 1, 0を与え、さらに授業科目の単位の値を考慮してGPAを算出します。
[表2に成績表記とGR評価ポイント)を示します]
- (2) 表中の成績表記－は、履修登録した科目の末受験を表しGP=0として計算されます。
- (3) 成績表記Nは、編入学以前や留学中の修得科目であって成績の読替不能を表し、GP=不定としてGPA算出の対象外となります。
- (4) 教職に関する科目を除く、全ての履修科目の平均値としてGPAが算出されます。
- (5) 成績通知書には、履修科目の成績表記とGPAが記載されます。

評価	表記	GP	素点	評価の方策 (Grading Policy)
合格	S	4	100～90点	特に優れた成績を示したもの (Excellent)
	A	3	89～80点	優れた成績を示したもの (Good)
	B	2	79～70点	妥当と認められる成績を示したもの (Fair)
	C	1	69～60点	合格と認められる最低限の成績を示したもの (Poor)
	G	計算対象外	100～60点	教職科目の「教育実習指導」において3年次に「教育実習指導(事前)」に合格したものを示したもの
不合格	D	0	59点以下	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの (Fail)
	—	0	履修放棄	
認定	N	計算対象外		認定したもの (Pass) ※入学以前に修得した科目、留学中に修得した科目のうち成績の読替ができない科目

表VI-2 成績表記とGP (評価ポイント)

GPA評価は、学科によってその活用法は異なりますが、以下のとおり活用されることがあります。

- (1) 「卒業研究」の研究室配属
- (2) 学位授与式における総代などの表彰選考
- (3) 特別編入推薦者の選考
- (4) 大学院特別推薦者の選考

GPA算出は、つぎの計算式によって行われます。

$$\text{GPA} = \frac{4 \times \text{S修得単位数} + 3 \times \text{A修得単位数} + 2 \times \text{B修得単位数} + 1 \times \text{C修得単位数} + 0 \times (\text{D又は-の単位数})}{\text{総履修単位数 (Dと-は含むが、Nは含まない)}}$$